



やつみね通信

Vol. 34

2025年5月1日発行

NPO法人八峰会 サービスセンター八峰
〒408-0022 北杜市長坂町塚川175番地2

ホームページ : <http://yatsumine.stars.ne.jp/index.html>
Facebook : サービスセンター八峰
Instagram : yatsu.mine



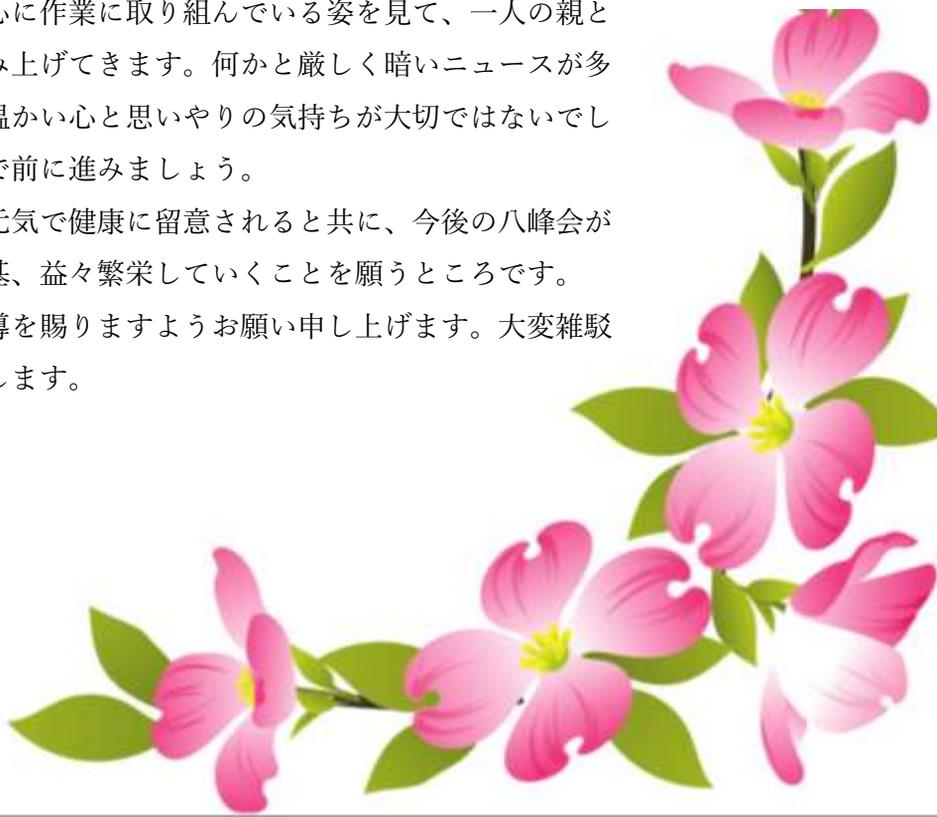
八峰会の皆さんへ

NPO 法人八峰保護者会会長 中沢朝征

今年も早や5月を迎えました。北杜の野山に新緑と高山の残雪が映えて美しい季節となりましたが、八峰会のみなさんお元気ですか。

通所されているメンバーさんも元気で明るく通っており、それぞれの目的に向かって活動しております。職員の先生方並びに関係者（大塚農場様・井上農場様）のみなさんには就労支援等協力をして頂き深く感謝申し上げます。メンバーさんが熱心に作業に取り組んでいる姿を見て、一人の親として安心感と嬉しさがこみ上げてきます。何かと厳しく暗いニュースが多い現代ですが、何よりも温かい心と思いやりの気持ちが大切ではないでしょうか。助け合いの精神で前に進みましょう。

会員のみなさんにはお元気で健康に留意されると共に、今後の八峰会が皆さんのチームワークの基、益々繁栄していくことを願うところです。併せて温かいご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。大変雑駁ですが、私のあいさつとします。



3月14日に、新・八峰家族会「NPO 法人八峰保護者会」ができたことに伴い、旧・家族会は3月27日に解散いたしました。今後は6月の新・家族会総会に向けて会員の募集やどんな活動をしていくかなど準備を行っていききたいと思います。

なぜ新・家族会を作ったの？

八峰の歴史は1970年前後の北杜市合併前にさかのぼります。小淵沢町、長坂町など各町村に住む精神障害のあるお子さんの通う場所として親御さんやご家族が各市町村と小規模作業所を作られ、家族会が運営する形でやってきました。2006年の自立支援法施行後、各作業所が合併して、今のNPO法人八峰会が出来ました。家族会の運営は、変わらず続けてきましたが、年月を経て、ご家族の高齢化もあり、2023年からNPO法人八峰会の運営を八峰会を応援する社員制に変えました。現在では、八峰会の運営は社員を希望するご家族、職員、八峰会を応援する方々で行っております。旧・家族会も同じで、ご家族の高齢化に伴い、親亡き後の利用者さんの今後をどう支えていくか、職員、関連機関、地域との連携と協働が必要です。さらに専門化複雑化する障害福祉制度を理解し、運営していかなくてはなりません。今後はご家族と職員、関係者が一体となって理解しあい、協力し合っていこうと新しい家族会の発足を決めた次第です。

旧・家族会と何が違うの？

旧・家族会は当時の行政の要望もあり、北杜市全体の精神障害者の家族会でした。それゆえ、長らく北杜市から補助金も出ていましたが、北杜市の精神障害者の支援施設は、八峰会だけということもあり、実際は、八峰に通う利用者さんだけの家族会でした。今現在、北杜市の他の障害者の家族会（知的障害や身体障害など）も存在しますが、補助金は、時代の流れで廃止になっています。旧・家族会も会の趣旨と実態が合っていないことで、いずれは補助金返還の流れになるかもしれません。ならば、八峰の利用者さんの家族会にして、職員と利用者さん、そのご家族が和気あいあいと八峰の行事を楽しんだり、困ったことがあったら相談したり、助け合って運営していく会にしようと思われ、発足を決めた次第です。行政からの補助金無しで運営していきますので、会費は年2000円になります。また、「みんなねっと」等の活動は、新・家族会で引き続き行っていきます。

新・家族会の事務所は、しらかば事業所に置きます。新・家族会は、趣旨に賛同し、総会で入会が認められれば職員や、利用者さんが八峰を辞められたり亡くなられたご家族の方も入会できます。今後、勉強会やお茶会なども積極的に企画します。近々新・家族会会員を募るお手紙を出しますので、ふるってご入会ください。

新・家族会の名称と役員の紹介です。

新・家族会 名称 NPO 法人八峰保護者会

会長 中沢朝征さん

副会長 小林健展さん

齋木優美子さん

会計 柴田元子さん よろしくお願ひします。

合同お花見ハイキング

浅川 さおり

前日の大雨で心配していた雨もやみ薄日がさす中、毎年恒例の眞原桜並木お花見ハイキングをしらかば工房、すずらん工房合同で行いました。

満開の桜のトンネルの下を歩数約 8000 歩のんびり歩きました。

今年はすずらん工房もしらかば工房に来て一緒にお花見弁当を食べその後室内ゲームを皆んなで楽しみ親睦を深めました。



いつもお世話になっております。

八峰会の相談支援事業所として令和4年4月に開設をし、この春で4年目を迎えました。開設から奔走された雨宮さんからバトンを受け継ぎ、現在管理者1名、相談支援専門員2名の3人体制となっております。

相談支援専門員は障害福祉分野のケアマネージャーで、利用者さんご本人が望む生活を実現するためのプランを作成し、数カ月に1回自宅や利用している事業所へ訪問し、モニタリングをさせていただいております。

八峰会ではしらかば工房やすずらん工房、ふきのとう、他法人では就労移行支援や就労継続支援A型、ホームヘルパー、生活介護、施設入所支援の事業所を利用している方を担当しています。年齢層も現在担当している方は18才から68才まで幅広く、利用している事業所も北杜市の他に、甲府市や長野県諏訪方面まで様々です。

就職を希望する方はナカポツへ、体調の事は病院やクリニック・訪問看護、高齢となり介護サービスが必要となった方は地域包括支援センターへ等、かざぐるまをはじめ、関係機関へつなぐサポートも行っております。

また北杜市障がい者施策推進協議会の委員や相談支援ネットワークやまなし（山梨県相談支援専門員協会）の政策委員会の委員（峡北地区）を担っており、この地域が障害のある方が住みやすい場所であるよう、これから相談支援業務を通して取り組んでいきたいと思っております。気になる事やお困りのことがありましたら、お声がけくださいませ。

今後とも何卒ご協力をよろしくお願い申し上げます。

相談支援専門員 山本 真由美

*****令和6年12月からの体制*****

管理者 浅川 さおり（しらかば工房管理者・ふきのとう管理者と兼務）

相談支援専門員 山本 真由美

相談支援専門員 山本 幸輝（すずらん工房リーダーと兼務）

よろしくお願いいたします☺



工賃向上の優れた取り組みを行う事業所を表彰する山梨県の「令和6年度やまなし工賃向上アワード」で、サービスセンター八峰が金賞を受賞しました。2月4日に県庁で開かれた表彰式に田中・浅川が参加しました。

賞金の30万円は小淵沢のOrtoで、お世話になっている企業様、理事さん、利用者さん、職員でお祝いの会の食事をいただきました。



苦情・相談件数

1・2・3月 **3** 月

相談件数 16件 **31** 日

- ・ご家族からの相談 (今後の当事者の就労、身体面について) (月)
- ・メンバーさん同士の距離の取り方。
- ・家族とのトラブル



編集後記

浅川良美

毎日、
家族のために頑張っているお母さん・・・
ありがとう！
体に気をつけて、
これからもよろしく願います。